



2026 年度 第 2 号

(通算 第 11 号)

発行月 2026 年 9 月吉日

発行部署 技術技能ラーニングセンター
技能専修学園

発行人 田辺 祥士

 豊田自動織機

Link

～つなぐ佐吉翁の精神 つながる人の絆～



学園長 ご挨拶



学園長
田辺 祥士

平素は技能専修学園の取り組みにご理解ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。
学園生は実践目標・行動基本 8 ヶ条を基に「規律性」「実践力」「基礎行動力」を備えた
現場の核となる人材を目指して日々訓練に励んでおります。

学園訓練は既に 5 ヶ月が経過いたしました。
「学園内体験談発表会」にて、これまでの訓練での気づきや成長、
そして今後の目標を一人ひとり、自分の言葉で発表してくれました。
その目標に向かい、今後の実習・実技訓練で更に成長してくれると確信しています。
引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

7 月～8 月の主な行事

愛知県事業内職業訓練生体育大会(7/2・3)

愛知県内の事業内訓練校 13 社から 2 日間で延べ
約 1,700 名の訓練生がトヨタスポーツセンターに集い、
愛知県事業内職業訓練生体育大会が盛大に開催さ
れました。

当社の学園生たちは日頃の練習の成果を発揮し、
各競技で健闘しました。中でもバレーボール競技は、織
機学園として初の優勝を果たす快挙を成し遂げました。

大会に向けて各競技で目標に向かって取り組む中
で、時には意見の食い違いもありましたが、それらを乗り
越えることで、結束力をより高めることができました。

学園生たちは 10 月末に開催される全豊田訓練生
総合競技大会で更に飛躍できるよう、仲間との絆を大
切にしながら、引き続き練習を積み重ねていきます。



織機学園初の優勝を果たしたバレーボール部



接戦の末、第 3 位に入賞したソフトボール部

★大会結果

【愛知県事業内職業訓練生体育大会】

- ・バレーボール 優勝
- ・ソフトボール 第 3 位



【植村さん】 バレーボール部
7 人という少ない人数の中、限られた環境で練習
を続けました。一人ひとりが真剣に取り組み、声を
掛け合いながら士気を高め、大会では優勝するこ
とができました。この経験から、仲間と協力し努力
を続ける大切さを学びました。



【松村さん】 ソフトボール部
私は体育大会を通して協調性を感じました。大会
中には意見がぶつかることもありましたが、互いに励
まし合いながら戦いました。結果は 3 位でしたが、
10 月の体育大会では優勝を目指して頑張りたい
と思います。



【山根さん】 サッカー部
体育大会を通して、チームワークの大切さと優勝
の難しさを学びました。仲間と協力することでチーム
の力を発揮できることを実感し、責任感を持って最
後までやり切る姿勢の大切さも感じました。次は
優勝を目指して頑張ります。



【橋本さん】 卓球部
卓球に出場し、少ない練習時間でも質を求めるこ
との大切さを実感しました。また、メンバー全員で
練習方法を考えたり教え合ったりすることで、信頼
関係やコミュニケーションの大切さを学びました。質
にこだわって次の大会まで練習していきます。

学園内体験談発表会(7/30)

学園訓練を通じて学んだことや成長した経験を共有し、今後の訓練に対する意識向上や「言語は簡潔明瞭」を実践する力を養うことを目的として、学園内体験談発表会を実施しました。

発表では、実習や部活動などの学園生活を振り返りながら、自身の経験や学びを整理し、自らの言葉で発表しました。当日は緊張しながらも、一人ひとりが思いを分かりやすく伝えることに挑戦し、発信力の向上につながる貴重な機会となりました。

優勝者は学園代表として、11月13日に開催される愛知県事業内職業訓練生体験発表会に出場します。



聴講者を引き込む発表をしている青木さん



【野田さん】

自分の感情を含めて発表することの難しさを実感しました。本番では緊張して少し詰まる場面もありましたが、最後まで発表できてよかったです。今後も発表する機会を自ら積極的に増やし、苦手克服につなげたいと思います。



【武藤さん】

学園で3か月を過ごし、自分の成長を実感できました。体験談発表では成果や成長を共有でき、同期の経験からも学ぶことができました。今回の経験を自分の今後に取り入れ、さらに成長できるよう学園生活を送っていきます。

オールトヨタテシナ活動(7/4・5、8/1・2)

長野県茅野市の聖光寺(※)にて「社会貢献」「一体感醸成」「訓練発展向上」の3つの目的とした、オールトヨタテシナ活動が2日間(1泊2日)で開催され、学園生有志が参加しました。

1日目はアスレチックやSUP、カヌーなどの交流活動、2日目は聖光寺の清掃活動に取り組むなかで、他社訓練生との意見交換などを行い、視野を広げるとともに企業の枠を超えた交流を深められた、貴重な機会となりました。

※「交通安全の祈願」「交通事故犠牲者の供養」「交通事故負傷者の早期社会復帰の祈願」のためにトヨタグループが施主となって建立した寺院



交流活動(カヌー)を楽しむ学園生



聖光寺の清掃活動に汗を流す学園生たち



【田上さん】

普段関わる機会の少ない他企業の方々と交流し、新たな学びを得ることができました。また、さまざまな考え方や取り組みを知ることで視野を広げることができました。今後の訓練や仕事にも活かしていきたいと思います。



【辰己さん】

他企業の学園生との共同作業を通して、それぞれの行動の違いに気付くことができました。また、声を掛け合いながら一つの目標に取り組むことで一体感を感じました。この経験を自分たちの訓練にも活かし、さらなる訓練発展向上に繋げていきます。



【山崎さん】

普段関わる機会の少ない他社の方々と交流を深めることができました。また、聖光寺の清掃を通じて誰かのために行動する大切さを学びました。この経験を通してコミュニケーション能力が向上し、今後も大切にしていきたいと思います。



【水田さん】

活動を通して、積極性と周囲を見て行動する力を身に付けることができました。他社との交流では自分から話し、清掃活動では次に何をすべきか考えて行動することで、コミュニケーションの大切さや主体的に動くことの重要性を学ぶことができました。

半年間の学園生活で成長を感じたこと

【福山さん】

実習を通して、技能だけでなく仕事に対する姿勢も成長したと感じました。実習を重ねる中で、4Sの大切さや周囲を見て行動することを意識するようになり、次の作業を考えて準備するなど、少しずつ余裕を持って行動できるようになりました。今後も学んだことを訓練で活かし、さらに成長していきたいです。



【濱田さん】

最初の頃は部活動のメンバー同士で言い争いやケンカをすることが多くありました。しかし、話し合いやミーティングを重ねる中で、良いことも悪いことも言い合える関係を築くことができました。また、協調性を意識して支え合い、自分の非や間違いを素直に認められるようになったことに成長を感じています。今後もこの姿勢を大切にしていきたいです。



【永井さん】

この半年間の実習を通して最も成長を感じたことは、電気分野の知識を身に付けられたことです。シーケンスや電気製図、電気工学概論を学び、基礎から実践的な内容まで幅広く習得できました。訓練当初は理解に苦労しましたが、実習を重ねることで知識と実践力を身に付けることができました。



【稲吉さん】

自身の成長を感じたことは持久走です。体力だけでなく、苦しい時でも最後まで走り切る精神力を身に付けることができました。周りの仲間の応援が支えとなり、応援することの大切さも実感しました。また、全員でペース走を行う中で、決められたタイムを守って走り続けることで規律性も身に付きました。今後の訓練でも身に付けたこと活かしていきます。



【大庭さん】

私がこの半年間の訓練で特に成長を感じたことは、安全意識と失敗から改善する力です。実習では安全に作業するため細かな点まで意識し行動してきました。また、初めての作業で失敗することもありましたが、その経験を次に活かし、改善を重ねながらより良い作業ができるよう努めました。後期実習でもこの意識を大切に作業しています。



【藤木さん】

半年間を通して、寮生活で家族と離れて生活する不安や慣れない環境での大変さを経験しました。しかし、生活する中で身の回りのことを自分で行う責任感や、時間を守ることの大切さを学ぶことができました。これからも生活面や人との関わり方について学び、寮生活で得た経験を活かして自ら行動できる人になりたいです。



【河村さん】

日々の心身訓練を通して、学生時代よりも忍耐力や集中力が身に付いたと感じています。きつい時でも気持ちを切り替え、最後までやり通す力がつきました。また、自分の苦手なことや弱い部分から逃げずに向き合う大切さを学び、継続することで成長を実感できるようになりました。今後も心と体の両方を成長させていきたいです。



【河瀬さん】

寮生活を始めた当初は親元を離れ、身の回りのことを全て自分で行う必要があり、一人暮らしの大変さと家族の支えの大きさを実感しました。また、仲間と生活する中で支え合うことや、周囲に配慮して生活することの大切さを学びました。最近では試験前に勉強会を開くなど、有意義な生活を送ることができています。



【丸井さん】

学園に入る前は失敗することが怖く、新しいことに積極的に挑戦できませんでした。しかし、部活動の大会で勝つために苦手なプレーを繰り返し練習し、できるようになったことで自分の成長を実感しました。その経験から、苦手なことにも努力して挑戦するようになりました。これからも訓練の中で多くの挑戦を重ね、さらに成長していきたいです。



【岡さん】

寮生活を通して、協調性や責任感を身に付けることができました。今まで親に任せていたことを自分で行うようになり、責任の大きさを実感しました。また、寮生活では仲間と支え合うことの大切さを学びました。これからも責任感を持って行動し、仲間との協調性を大切にしながら残りの学園生活を送ってきたいです。



【編集より】

前号のアンケートではたくさんのコメントをいただき、誠にありがとうございました。機関紙を通して学園の様子に関心を持っていただけていることを大変嬉しく感じております。また、皆様から寄せられたご意見を参考にしながら、今後もより充実した内容をお届けできるよう努めてまいります。

これからも学園ではさまざまな訓練や活動が行われます。学園ホームページの「お知らせ」では、紙面では紹介しきれなかった学園生の声や活動の様子も掲載しておりますので、ぜひ機関紙とあわせてご覧ください。

今後も、学園生の成長や学園の魅力をお届けしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【ご意見・ご感想はこちらから】



お問合せ先：

株式会社豊田自動織機 技術技能ラーニングセンター

技能専修学園 学園グループ 担当：木村 泰河

〒474-0035 愛知県大府市江端町 3-217

TEL：0562-48-9706 FAX：0562-48-9742

E-MAIL：gakuen@mm.toyota-shokki.co.jp

【学園ホームページ】

